

## 農協改革の問題点指摘

県内JA 国会議員と意見交換



農協改革などを話し合った県内JAグループと県選出国会議員との意見交換会＝東京都千代田区、ホテルルポール麹町

県内JAグループは23日、県選出の自民党国会議員との意見交換会を東京都内で開き、農協改革や環太平洋連携協定(TPP)について意見を交わした。

毎年春と秋の2回。

今回は県内JAグループの幹部、自民党の県選出国会議員6人、県連幹部らが出席した。

JA岐阜中央会の岡田忠敏会長は、農協改革の動きをたどり「たくさん問題が残っており、先行きが不透明」と指摘。特に中山間地域での農業の担い手不足を挙げ、理事構成における認定農業者の規定撤廃などを求めた。

古屋圭司県連会長は「具体的な要望をまとめていただき、さらに意見交換したい」と応じた。  
(宮本寛)